



二宮淳一議員

阿弥陀川の防災対策は

河川管理者の県に強く要請する

問 阿弥陀川の荒廃がひどい。県下でも有名な荒川であり、過去の大洪水では家を流し、道路を決壊させたと記録にある。一部の地権者のために、70年間放置されていると聞いている。河川周辺に居住する多くの人々の安全のために、雑木の伐採・

答 (山口町長) 阿弥陀川は暴れ川であることは承知している。過去にさまざまな工事がなされたが、施設の老朽化が進んでいる。

堰堤の修理・護岸の補強が急務である。県に対し、強力な要請を望む。

修理が急がれるが、一部地域で地籍混乱地があり、理解が得られないまま今日に至っている。問題解決の方策を練り、今後も引き続き県に要望していく。



国道9号から見た阿弥陀川

街路樹、公園の管理は 指定管理者制度への移行も検討

問 償却資産である建造物は、維持管理費を使っても年々老朽化していく

ものだが、一方、街路樹や公園樹木は管理の手法によって成長していく。花街道の街路樹は見るに耐えない。目的を考えて検討されたい。

答 (山口町長)

管理方法や目的について不効率な点もあり、改善の必要性を感じている。今後は施設のもつ特性と使用目的を考えシルバ人材センターや、専門業者委託方式等で対応して行き、更に指定管理者への移行も視野に入れた方法を検討する。

高麗山の麓に薬草の森を

中長期ビジョンで検討

問 大山振興室は、町内の豊富な資源を発掘し活用することが目的である。妻木晩田遺跡と結んだ大規模な薬草の森を開発して、住民の健康に対する意識を高揚しつつ、観光行政の一環としての効果も期待できると考える。さらに高齢化対策でもあり、10年先、50年先の実現であってもぜひ取組むべきと考える。

答 (山口町長)

大山振興室では、大山を核にした実現可能な中

長期ビジョンの構築を指していく考えであるが、妻木晩田遺跡は平成11年12月に国の史跡に指定され、指定地内での開発行為は、あくまでこの史跡を維持・保全する目的に限定される。

さらに鳥取県教育委員会「国史跡妻木晩田遺跡整備活用基本計画」が策定された。従って、この整備活用基本計画と大山振興計画との調整を図りながら事業展開をしていく。



元気が悪い花街道の樹木